

# 会津北嶺高等学校 100周年を迎えた卒業式

3月1日、100周年を迎えた会津北嶺高等学校の卒業証書授与式が同体育館で開催された。今年度の卒業生119名（普通科85名・機械科34名）が、石山裕司校長より卒業証書を受け取った。



席上、石山校長は式辞の中で卒業生に対して、この3年間の部活動や勉強、多くのボランティア活動などイベントの参加に賛辞を述べた後に「花向けの言葉として、為せば成る」と言う言葉。こ

の言葉は今から約200年前江戸中期の大名出羽米沢藩9代藩主で屈指の名藩主として有名な上杉鷹山公が家訓として残されたもの。目的を立てその身になってやればどんな事でもできるという強い意志の大切さを教えている言葉。これからもさらに頑張つて欲しい」と述べた。

なお、在校生代表の高橋柊音（しゅうと）さんが送辞、卒業生代表の初

谷海天（みたか）さんが答辞を述べた。今年度、福島県内では唯一のプロ野球選手（千葉ロッテマリーンズ）となった富山紘之進さんも卒業式に出席した。

そして、119名の卒業生はそれぞれの希望を胸に学舎を後にした。

なお、卒業生の中で大合格者は34名。国際基督教大学（1名）、会津大学（3名）、青山学院大学（1名）、東北学院大学（4名）、日本大学（3名）、専修大学（1名）、東海大学（1名）、大東文化大学（1名）、国士舘大学（1名）他となっている。